

平成29年度 弘前市総合計画審議会議事概要 (第11回)			
日 時	平成29年12月13日 (水) 18時30分～19時50分		
場 所	弘前市役所3階 防災会議室	傍聴者	0人
出 席 者	委 員 (14人)	森会長、村松委員、生島委員、高島委員、藤田委員、清野(眞)委員、清野(智)委員、熊谷委員、鈴木委員、秋元委員、山形委員、青山委員、三上委員、名越委員	
	事務局 (7人)	ひろさき未来戦略研究センター所長、ひろさき未来戦略研究センター副所長、ひろさき未来戦略研究センター総括主幹、ひろさき未来戦略研究センター総括主査、ひろさき未来戦略研究センター主査、ひろさき未来戦略研究センター主事	
	その他		
会 議 概 要			
1 開会			
2 議事			
次期弘前市総合計画 (策案) について			
○主な質疑等の内容は以下のとおり。			
・経営計画は20年後の将来都市像を掲げているので、数値にこだわる必要はないが20年後の目標に関する記載や文言が入るべきではないか。			
→20年後の目標については、数値目標ではなく、「子どもたちの笑顔あふれるまち弘前」という将来都市像を定性的な目標として位置づけている。			
・広報活動に関し、ツイッターなどのSNSを活用した情報発信などを行っているのであれば、取組内容等に記載すべきではないか。また、広報誌については、紙ベースでの配布というイメージが強いため、ホームページで掲載する以外にも、様々な媒体を活用した閲覧・公開などの方法を検討して欲しい。			
→既に、ツイッターやフェイスブックなどで情報発信は行っているが、市政にあまり関心がない層にどのようにして情報を伝えていくかということを課題として認識しているので、その部分に関する情報発信を今後どのようにすべきか検討していきたい。			
・子どもの貧困対策や発達障害への対策などの施策を検討する際には、その原因となっているデータをしっかりと収集し、分析したうえで、施策を検討して欲しい。例えば、肥満の子どもが増えているという記載があるが、原因としては運動不足だけでなく、食生活にも原因があるのではないかと思うので、そのようなデータ			

を集めて分析するなどしてほしい。

→肥満の子どもや発達障害の子どもが増えている原因についての分析までは出来ていないのが現状であるが、子どもの貧困対策については、教育委員会と健康福祉部が連携し、市全体としての支援のあり方が具体的に見える形で整理していきたい。

- ・総合計画の構成は、自治体が何に力を入れているのかが表れる部分でもあるので、計画の施策の一番初めに「婚活支援」の施策があることに、違和感がある。「婚活支援」を「妊娠・出産への支援体制」や「子どもの成長に応じた切れ目のない支援」の後に位置付けることで、この点については、整理できるのではないか。

→施策の構成については、改めて検討する。

- ・各個別計画の一覧が計画に入るとのことだが、同じように附属機関の一覧についても計画に記載されるべきではないか。オール弘前で市政を運営していくとされているので、多様な主体で市を運営しようとしていることを示すうえでも附属機関を計画に記載すべきと考える。

→条例で設置されている附属機関と、附属機関以外の様々な審議会の棲み分けをどうするか、あるいは、複数の分野にまたがり計画書の紙面構成上、複雑になりかねないという懸念があるので、事務局でもう一度、整理して検討したい。

- ・素案の 71 ページに社会教育事業に関する写真が 3 枚あるが、全て同じ場面を写したものであり、多様な学びを表現するのであれば別の写真も使うなど改善して欲しい。社会教育は、様々な年代の市民が、様々な活動を行っているので、それを示すようなページ構成としてほしい。

- ・社会教育事業の写真に関連して、社会教育は子どもから高齢者まで幅広い世代を対象とするものであるため、子どもと高齢者が一生に活動している場面やボランティア活動の場面などの写真が掲載されるべきではないか。

- ・附属機関について、一覧で掲載するよりは、それぞれの政策あるいは施策ごとに関連する附属機関や附属機関以外の審議会を具体的に記載した方が、よりイメージされやすく、市民主体の計画というものを打ち出せるのではないかと。

→事務局において整理し、検討する。

- ・子どもの貧困対策については、現在施策を検討中とのことだが、子どもだけでなく、女性や高齢者の貧困も問題だと思うので、第 3 章の「現状と課題」の市の経済動向で単身世帯やシングルマザーなどを対象とした細かい分析をしたうえで、政策形成につなげていって欲しい。

→子どもの貧困などに関するデータについては、国レベルではあるが市町村レベルではないのが現状である。国の動向としての各種データはしっかり反映させる、さらに、可能な限り市の現状も反映できるように進めていきたい。

- ・リーディングプロジェクトに「活力と輝きによる健康格差の解消」とあるが、文言から具体的にどのように健康格差の解消につながるのか見えてこないため、例え

ば、「健康格差の解消による活力と輝きを」とする方が、しっくりくるのではと考える。

→名称については、改めて検討したい。

○次期弘前市総合計画（策案）については、原案のとおり了承された。

3 閉会